



「まんえん防止等重点措置」って何？

1月21日（金）～2月13日（日）、香川県の14市町に「まんえん防止等重点措置」が適用されました。三豊市もこの中に含まれています。これに伴い、三豊市や観音寺市の中学校では、県新人大会等に出場する部を除いて、部活動は中止になりました。

さて、みなさんは、この「まんえん防止等重点措置」が適用されることにより、どんなことが行われるのか知っていますか？ まず、この措置は、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の、特定地域からのまん延を防ぐことを目的として行われます。都道府県知事が国に要請して、首相が決定し、具体的にどの地域（市区町村等）を対象とするかは知事が指定します。新型コロナウイルスの感染状況には4つのステージがあり、上から2番目のステージ3が、この措置を行う目安になります。ステージ3とは、「医療のひっ迫具合（確保病床使用率20%、入院率40%）」や「直近1週間の新規感染者数（10万人あたり15人）」などの状況ですが、香川県はこの基準を大きく上回っています。具体的な措置としては、飲食店に対して、営業時間を20時までにし、お酒を提供したりしないように求めること、イベントは決められた人数や規模の範囲内で行うこと、家で仕事をするなどして会社に出てくる人の数を減らすことなどです。そして香川県では、措置の対象となった地域の住民（わたしたちのことです！）には、次のようなことが「要請」されています。

- 基本的な感染対策を徹底する。「三つの密（密閉・密集・密接）」の回避、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」、「換気」
- 外出する場合は、適切な感染対策を徹底して行動する。
- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出・移動を自粛（じしゅく）する。
- 不要不急の都道府県間の移動はできるだけ控える。

学校生活で感染リスクが高いのは、マスクを外す給食と部活動です。給食では、配膳から食事が終わるまで無言を徹底してください。感染拡大防止（人と人との接触をできるだけ減らす）という目的で、部活動を中止していますので、平日は、授業が終わったら寄り道をせずに家へ帰ってください。休日も、大勢で集まることのないようにして、できるだけ家やその周辺で過ごしてください。外で体を動かすことは大切ですが、運動する場合は、少人数でしましょう。

揺れる（迷う、悩む）ことの大切さ



みなさんは、東京スカイツリーが、1400年も前に建てられた奈良県法隆寺の五重塔（ごじゅうのとう）の構造をまねしているのを知っていますか。まねた理由は、法隆寺の五重塔が1400年以上倒れなかったからだそうです。現在の建築技術を上回るほど頑丈（がんじょう）に造っているのか？それとも、偶然、五重塔が建っている所だけ地震がなかったのか？

高い建物が倒れる一番の原因は、やはり地震です。1400年というとても長く長い間には、法隆寺も何度か大きな地震に襲われています。でも倒れなかった。その理由は、五重塔は揺れやすい構造をしているからだそうです。高い建物を、揺れないように頑丈に造ってしまうと、限界点を超える揺れが起こると、すぐに倒れてしまいます。それに対して、最初から揺れやすく、揺れを建物の中で吸収できる構造にしておくと、巨大な地震が起こっても倒れないのだそうです。東京スカイツリーは、この大昔の建物の構造を手本として造られたのです。

さて、この話を聞いていて、人間も同じだなあと思いました。迷ったり悩んだりして、いつも揺れている人の方が案外強いものなのです。見た目が強そうで、いつも自信満々な人は、意外に思わぬことでポキッと折れてしまいます。思春期のみなさんは、日々、何かに迷い、悩み、心が揺れていることでしょう。でも、それでいいのです。その迷い、悩み、心の揺れが、みなさんを倒れることから守ってくれているのです。そして建物と違い、人間は、そのたびに強くなっていけるのです。